

# Cisco WebEx Meetings Server リリースノート

## リリース 2.6

---

初版 : 2015 年 10 月 14 日

最終更新 : 2015 年 11 月 26 日

## Cisco WebEx Meetings Server リリースノート

これらのリリースノートは、Cisco WebEx Meetings Server リリース 2.6 のすべてのバージョンの新機能、要件、制限、および問題を記載しています。これらのリリースノートはすべてのメンテナンスリリースに対して更新されますが、パッチやホットフィックスに対しては更新されません。別段の記載が無い限り、各メンテナンスリリースには過去のリリースの機能、要件、制限、およびバグ修正が含まれていることに注意してください。Cisco WebEx Meetings Server をインストールする前に、システムに影響を与える可能性がある問題について、この文書を見直すことをお勧めします。

この製品の最新のソフトウェアをダウンロードするには、次の URL に移動してください。 <http://software.cisco.com/download>.

製品 > 会議 > Web 会議 > WebEx Meetings Server > WebEx Meetings Server 2.6 を選択します。

### ドキュメントの場所

ユーザーに以下の URL を提供します。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/tsd-products-support-series-home.html>

## Cisco WebEx Meetings Server リリース 2.6 の新機能と変更された機能

このセクションでは、本リリースでの新機能や変更について説明します。

サポートされているハードウェアやオペレーティングシステムを含むシステム要件のリストを完成させるには、『Cisco WebEx Meetings Server プランニングガイドとシステム要件リリース2.6』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod_installation_guides_list.html)) をご覧ください。

Cisco WebEx Meetings Server (CWMS) リリース 2.5 でサポートされている機能はすべて (メンテナンスリリースで追加されたものを含む) CWMS 2.6 でサポートされています。すべての使用可能な機能と利点の詳細については、このリリースの Cisco WebEx Meetings Server のデータシートを [http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/ps10352/ps10362/ps12732/data\\_sheet\\_c78-717754.html](http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/ps10352/ps10362/ps12732/data_sheet_c78-717754.html) で参照してください。

### アクティブデータベースの複製を改善

競合の検出と解決は、マルチデータセンター環境のデータセンター間で共有されるデータの整合性と正確性を保証するカスタム「カラムベース」解決プロセスを使用することで管理されます。

### 拡張ブランディング

Cisco WebEx Meetings Server 2.6 は音声プロンプト、ロゴ、サイトの著作権声明のカスタマイズをサポートします。

### 画面共有コントロール

このリリースでは、画面共有コントロール機能が導入されました。WebEx ミーティングを作成するとき、主催者は他のユーザーが画面共有を許可できるか、または主催者のみが画面共有を許可できるか指定できます。

### セキュリティの強化

セキュリティを強化するため、Web サーバーは RC4 暗号化をサポートしません。

### 更新された G.729 Codec サポート

Cisco WebEx Meetings Server 2.6 は G.729 Codec のために 40-ms パケットサイズをサポートします。



#### 重要

G.729 用の 40 ms、50 ms、60 ms パケットサイズは Cisco Unified Communications Manager リリース 10.x と 11.0 には対応しません。この問題は、Cisco Unified Communications Manager の限界が原因です。

### 仮想デスクトップインフラストラクチャのサポート

Cisco WebEx Meetings Server 2.6 は Citrix XenDesktop 7.6 をサポートします。ホストオペレーティングシステムと仮想オペレーティングシステムはともに Microsoft Windows (Windows 7 または Windows 8) である必要があります。ホストオペレーティングシステムとは、ユーザーのローカルコンピュータ上にインストールされているオペレーティングシステムのことです。仮想オペレーティングシステムとは、仮想デスクトップ上にインストールされているオペレーティングシステムのことです。

### ミーティング ID の表示

このリリースでは、ミーティング ID の表示機能が導入されています。WebEx ミーティングの間に画面を共有している間、プレゼンターは容易にミーティング ID を表示できます。

### 更新されたブラウザへの対応

このリリースは次のブラウザバージョンをサポートします。

#### Windows

- Internet Explorer 11.0.9600.17959

- Chrome 44.0.2403.157 m
- Firefox 40.0.2

#### Mac

- Safari 8.0.3
- Chrome 43.0.2357.134
- Firefox 40.0.2

#### WebEx Meeting Client Application

このリリースは Windows および Mac 向けの WebEx Meetings Application バージョン 30.1.0.20002 をサポートします。

#### WebEx ネットワーク録画プレーヤー

このリリースは次の Cisco Network Recording Player バージョンをサポートします。

- Windows 30.1.0.20002
- Mac T30L10NSP1.20002

Cisco WebEx サイトの[ダウンロード]ページから、最新版をインストールできます。Cisco Network Recording Player をダウンロードするとき、オペレーティングシステムのドロップダウンメニューから、Windows または Mac を選択します。デフォルトでは、Windows プレイヤーがダウンロードされます。

#### WebEx 生産性向上ツール

このリリースは Windows 向けの WebEx 生産性向上ツール、バージョン 2.82.502.1078 をサポートします。

## サポートされているアップグレードパス

Cisco WebEx Meetings Server のこのリリースは、リリース 1.x から 2.6 へのアップグレードをサポートします。次のポイントが適用されます。

- アップグレードは、システムに作成した主な変更を展開するためのシステムの置換として定義されます。
- アップデートとは、システムを段階的に改善することと定義されます。アップデートでは、修正と小さい改善を展開します。
- ログやログキャプチャを除いて、元のシステムからの全データはアップデートまたはアップグレードしたシステムに転送されます。
- アップグレード中、ソフトウェアのメジャーバージョンをスキップできません。また、コンパニオンメンテナンスリリースへ直接移動します。

たとえば、1.5MR5 から 2.6MR へアップグレードするには、1.5MR5 から 2.6 へアップグレードしてから、2.6MR へアップデートします。

次のテーブルを使用して、Cisco WebEx Meetings Server Release 2.6 へアップデートまたはアップグレードする方法を決定してください。

インストールされたリリース	2.6 リリース	パス
1.0 から 1.1	2.6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1.5 へのアップデート</li> <li>2 1.5MR5 へのアップデート</li> <li>3 2.6 へのアップグレード</li> </ol>
1.5 から 1.5MR4	2.6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1.5MR5 へのアップデート</li> <li>2 2.6 へのアップグレード</li> </ol>
1.5 MR5 以降	2.6	2.6 へのアップグレード
2.0 から 2.0MR8	2.6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2.0MR9 へのアップデート</li> <li>2 2.6 へのアップデート</li> </ol>
2.0MR9 以降	2.6	2.6 へのアップデート
2.5 または 2.5MR シングルデータセンター (SDC)	2.6	2.6 へのアップデート
2.5 または 2.5MR マルチデータセンター (MDC)	2.6 <sup>1</sup>	2.6 へのアップデート
2.6 または 2.5MR シングルデータセンター (SDC)	2.6MR	2.6MR へのアップデート
2.6 または 2.5MR マルチデータセンター (MDC)	2.6MR	2.6MR へのアップデート

- <sup>1</sup> **重要:** 両方のデータセンターを同時にアップデートする必要があるため、アップデートにはダウンタイムが必要です。他のデータセンターでアップデートが完了し、両方のデータセンターで再起動ボタンが表示されるまで、再起動ボタンをクリックしないでください。

リリース 2.5 から 2.6 へアップデートする場合、他のデータセンターのアップデート完了前に 1 つのデータセンターを再起動すると、複製が壊れます。

詳細については、『Cisco WebEx Meetings Server 管理ガイドリリース 2.6』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod_installation_guides_list.html)) と 『Cisco WebEx Meetings Server プランニングガイドおよびシステム要件リリース 2.6』 (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-installation-and-configuration-guides-list.html>) を参照してください。

## 高可用性システムの更新



### 重要

データセンターを配備する前に、音声を暗号化する (-AE) か、音声を暗号化しない (-AU) を選択します。配備後にこのタイプを他方のタイプに変換することはできません。一方のタイプのシステムでアーカイブまたはバックアップされたデータは、他方のタイプのシステムにアップロードすることはできません。音声暗号化タイプはアップグレードまたはアップデートの最中に変更できません。システムの音声暗号化タイプを変更するための唯一の方法は、システムを新規に配備することです。

高可用性システムをアップデートしたら、システムをリブートします。リブートプロセスが完了したと思われたら、さらに 15 分待機してから、高可用性システム手順の追加を開始することをお勧めします。

## 制限と制約

### 録画制限

- ストレージサーバの容量によって許容される限り、いくつでも録画を作成できます。以下の式を使用して、標準的な 5 年間に必要なストレージサーバサイズを予測します。  
1日に録画することが予想されるミーティングの時間数 \* 1 時間当たりの録画につき 50-100 MB \* 5 年間 \* 1 日につき 24 時間 \* 1 年につき 365 日
- 録画ごとにサイズは最大 2.2G の録画サイズ (既存システム制限)。Multidata Center の場合、すべてのデータセンターに対して使用できる十分なストレージ容量があることを確認してください。
- ユーザーごとのストレージの制限はありません。録画は削除されるまで、無期限に保存されます。重要な録画が誤って削除されることを防止するため、録画の自動削除を有効にする設定はありません。削除する録画をマークした後で、録画を他のメディアにアーカイブする時間があります。ストレージサーバは録画を最大 6 か月間保存します。

- ストレージサーバーを構成し、[管理ダッシュボード]>[設定]>[ミーティング]>[参加者特権]の下で、[録画]をチェックするとき、録画設定はシステム全体の設定であることに注意してください。録画に対する個々のミーティングやユーザー設定はありません。

## インターネットリバースプロキシがプラットフォームから取り除かれる可能性がある

管理仮想マシンは、メッセージの取り除きをインターネットリバースプロキシサーバーに送信して、それをプラットフォームから削除できます。このメッセージはクリアテキストとして送信され、認証されないため、サービス拒否につながる場合があります。

IP テーブルまたはアクセス制御リスト (ACL) を使用して、ポート 64616 への接続が管理仮想マシンからのみになるように、ファイアウォールを構成します。

## 生産性向上ツール

### 互換性のないバージョン

Cisco WebEx Meetings Server の各リリースは、Cisco WebEx 生産性向上ツールクライアントの特定のバージョンをサポートします。Cisco WebEx Meetings Server のウェブサイトにある [ダウンロード] リンクから、生産性向上ツールのサポートされているバージョンをダウンロードできます。これら 2 つのアプリケーションの対応しないバージョンを使用すると、問題が発生する場合があります。

### Microsoft Outlook からスケジュール済みの繰り返しミーティングを更新する

このリリースには、Microsoft Outlook インテグレーションからスケジュールされた一連の繰り返しミーティングの単一インスタンスを更新するとき、次のような制限があります。

- ユーザーは「WebEx Meeting の追加」オプションが確認できません。ユーザーは Outlook から一連の標準的な繰り返しミーティングをスケジュールします。ユーザーが一連の単一インスタンスを更新する場合、ユーザーは WebEx 接続をミーティングに追加するオプションを確認できません。このインスタンスでは、ユーザーが WebEx オプションを含んだり、WebEx コンポーネントに含むため一連の繰り返しミーティング全体を変更する、新しいミーティングをスケジュールすることを推奨します。
- WebEx はミーティングの例外から削除されません。ユーザーは一連の繰り返しミーティングをスケジュールします。ユーザーは 1 つまたは複数のインスタンスを編集し、異なる時間や日付を示し、それから一連の繰り返しミーティングをキャンセルします。このインスタンスでは、編集されたミーティングは Outlook ではキャンセルされません。しかし、ミーティングで保持されている WebEx 情報は有効ではなくなります。
- キャンセルされたミーティングは引き続きウェブページに表示されたままになっています。ユーザーは Microsoft Outlook から一連の繰り返しミーティングをスケジュールします。ユーザーは一連からミーティングインスタンスを削除して、WebEx を一連の繰り返しミーティングに追加します。このインスタンスでは、元の一連の繰り返しミーティングから削除された

ミーティングは引き続き Cisco WebEx Meetings Server ウェブサイトに表示されたままになっています。

- 更新はミーティングの例外に反映されません。ユーザーは Microsoft Outlook から一連の繰り返しミーティングをスケジュールします。ミーティングトピック、リスト、出席者、ロケーションを変更することで、ユーザーは一連のミーティングの単一インスタンスを編集します。ユーザーはそれから一連の繰り返しミーティング全体で、ミーティングコンテンツを編集します。このインスタンスでは、一連のミーティング行われた更新は、別に更新されたミーティングに反映されません。
- WebEx コンポーネントはこの先のミーティング時間に反映されません。ユーザーは Microsoft Outlook から WebEx ミーティングをスケジュールします。ミーティングの時間が過ぎています。ユーザーは一連のミーティングの中で1つのインスタンスを過去の時間にドラッグし、この先の時間を反映するために更新します。このインスタンスでは、ミーティングの WebEx コンポーネントは同じままです。将来の時間を反映するために更新できません。
- ユーザーは連続ミーティングの1回の発生に対する変更を行い、この場合はサーバーから新しいミーティング ID が割り当てられます。ユーザーはすべての招待者に対して、新しい meetingID で、更新されたミーティング通知を必ず送信する必要があります。

## 仮想デスクトップインフラストラクチャ

次の制限は仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) 環境に影響を与えることが知られています。

- 仮想デスクトップ環境の構造的な制限はビデオの品質に影響を与える場合があります。ビデオを送信するときに、フレームレートが低くなり、品質が低下する場合があります。
- 仮想デスクトップ環境ではビデオファイルの一部は共有できません。
- Remote Access と Access Anywhere は仮想デスクトップ環境ではサポートされていません。基盤となる Citrix プラットフォームはオペレーティングシステムの再起動後、Remote Access、Access Anywhere エージェントを削除します。
- 生産性向上ツールのユーザーは、ワンクリックミーティングを開始したり、Outlook からスケジュールされたミーティングを開始できません。

## 重要な注記

### CWMS ライセンス

#### Multi-Data Center (MDC) のライセンス

Multi-Data Center (MDC) のライセンスでは、データセンターをシステムに連結することが必要です。各データセンターは MDC システムライセンスを必要とします。つまり、MDC システムは、各データセンターに1つずつ、最低2つのライセンスが必要です。Single-data Center (SDC) で

は、システムライセンスは必要ありません。リリースバージョンの『Cisco WebEx Meeting Server 管理ガイドバージョン』の「MDC ライセンスの概要」を参照してください。 <http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-installation-guides-list.html>。

### 主催者ライセンス

主催者（ユーザー）ライセンスがカウントされる方法は、バージョン2.5で大幅に変更されます。ユーザーは最大2つの同時ミーティングを、1つのライセンスのみを使用して主催できます。以前、複数のミーティングを主催するユーザーは、複数のライセンスを使用していました。ミーティングをスケジュールしたり、出席するためには、主催者ライセンスは必要ありません。リリースバージョンの『Cisco WebEx Meeting Server 管理ガイドバージョン 2.5』の「ユーザーのライセンスステータス」を参照してください。 <http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-installation-guides-list.html>。

## ハイパーバイザーサポート

Cisco WebEx Meetings Server は VMware 仮想マシンで実行されます。

- Cisco WebEx Meetings Server を展開するには、VMware vSphere と VMware vCenter の両方が必要です。vSphere クライアントを使用して、Cisco WebEx Meetings Server OVA ファイルを vCenter によって管理されている ESXi ホストに展開します。
- VMware vSphere 5.0、5.0 Update 1、5.1 または 5.5 を購入する必要があり、以下のいずれかを行って Cisco WebEx Meetings Server のハイパーバイザプラットフォームとして使用します。
  - Cisco の GPL（グローバル価格リスト）から直接 vSphere を購入してください。Cisco は VMware 公認のパートナーおよびディストリビュータです。これは、すべてをひとつのベンダーにまとめたユーザーにとって便利です。
  - VMware との直接法人契約を通じて、vSphere を VMware から直接購入してください。
- Cisco WebEx Meetings Server はハイパーバイザーをサポートしていません。
- ハイパーバイザの要件の詳細は、『Cisco WebEx Meetings Server システム要件』（[http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod_installation_guides_list.html)）を参照してください。

## 自己署名証明書の使用について

提供されている自己署名証明書の代わりに、パブリック署名証明書を使用することを強く推奨します。パブリック署名証明書は、各ユーザーのコンピュータにインストールされているルート証明機関の証明書のリストを使用して確立されているため、ユーザーのブラウザによって信頼されます。

自己署名証明書を使用する Multi-Data Center (MDC) システムの場合、エンドユーザーは複数の証明書警告を受け取り、システムを使用するにはすべての証明書を信頼し、インストールする必要があります。



自己署名証明書を使用すると、ブラウザはデフォルトでそのような証明書は信頼しないため、一部のユーザーはミーティングに参加することが困難になる場合があります。この場合は、サイト上のミーティングへの参加に移る前に、ユーザーは明示的に信頼を確立する必要があります。一部のユーザーはそのような証明書で信頼を確立する方法を理解していない場合があります。他のユーザーは管理設定によって阻まれる可能性があります。そのため、可能な限りパブリック署名証明書を使用して、最良のユーザーエクスペリエンスを提供する必要があります。

『ユーザーガイド』は、エンドユーザー向けに、この問題に関するトピックを記載しています。『Cisco WebEx Meetings Server ユーザーガイド』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/products_user_guide_list.html)) のトラブルシューティングの章の、「ミーティングクライアントがロードされない」というトピックを参照してください。

## サポートされている暗号

Cisco WebEx Management Server Release 2.6 は、以下の暗号をサポートしています。

- TLS\_RSA\_WITH\_3DES\_EDE\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_3DES\_EDE\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_RSA\_WITH\_3DES\_EDE\_CBC\_SHA
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA

## システムの拡張

既存（拡張前）システムの VMware スナップショットがある場合、既存システムを取り除くまたは削除する間に、拡張されたシステムが稼働していることを確認してください。これは拡張されたシステムによるアクセスが可能な、ハードディスク 4 の VMDK ファイルの偶発的な削除を防止します。

## 生産性向上ツールのアップグレードに関する通知

以前に展開された生産性向上ツールパッケージに、新しく展開された生産性向上ツールパッケージとは異なるバージョンまたはビルド番号があり、アップグレードがブロックされていない場合、生産性向上ツールクライアントはアップグレード警告ダイアログボックスによる通知を表示します。

## SNMP v2 コミュニティ名

Cisco WebEx Meetings Server のこのリリースには、デフォルトの SNMP v2 コミュニティ名エントリがありません。既存の Cisco WebEx Meetings Server 1.0 デフォルトコミュニティ名である「CWS-Public」は、アップグレード後に削除されます。ユーザーによって追加された SNMP v2 コミュニティ名のみが維持されます。

## 既知の問題と通知

### 翻訳されたドキュメント

Cisco WebEx Meetings Server 1.1 MR3 の翻訳されたドキュメントは、英語版のリリース後 4～6 週間後に公開されます。

### Apple iOS 6.x と SSO

Apple iOS 6.x には既知の問題があります。Safari 6 ウェブブラウザを使用している iPad/iPhone の内部ユーザーでは、シングルサインオン (SSO) が機能しません。iOS 7 で修正された Apple の欠陥によってこの問題が発生しました。Safari バグ ID は 13484525 です。

### 仮想マシン IP アドレスを変更している間のホスト名の維持

展開で構成されるホスト名の DNS エントリを変更しないでください。展開の一部である仮想マシンのホスト名を変更できます。対応する IP アドレスは DNS から自動的にピックアップされます。仮想マシンの IP アドレスを変更し、同じホスト名を維持する場合、以下の手順を実行する必要があります。

- 1 DNS の一時ホスト名を設定します。
- 2 仮想マシンのホスト名を、構成した一時ホスト名に変更します。
- 3 システムのメンテナンスモードを終了すると、新しいホスト名の変更が適用されます。  
元のホスト名は、この変更を行った後は展開の一部でなくなります。
- 4 DNS の元のホスト名の IP アドレスを新しい IP アドレスに変更します。
- 5 仮想マシンの一時的ホスト名を元のホスト名に変更します。
- 6 システムのメンテナンスモードを終了すると、ホスト名の変更が適用されます。  
元のホスト名は新しい IP アドレスで構成されています。

## ダッシュボードの問題 - すでに開始したミーティングを表示することができない

Cisco WebEx Meetings Server の今回のリリースでは、すでに開始された特定のミーティングがダッシュボードに表示されません。この問題は次のシナリオで発生します。

[参加者が主催者より先に電話会議に参加することを許可する] 設定を有効にして、ミーティングをスケジュールします。ある参加者が電話でミーティングに参加しますが、ウェブの部分には参加しません。ダッシュボードは、このミーティングが開始されており、1名の参加者がいることを表示するべきですが、そのことを表示しません。このため、ユーザーが複数のミーティングをスケジュールすることがあり、これはパフォーマンス上の問題につながります。

## 音声の設定

この音声設定では、G.711 は G.729 よりも良い音質になるので注意してください。詳細は、「“音声設定の構成について”」のセクション（『Cisco WebEx Meetings Server 管理者ガイド』）を参照してください。

## IP Communicator 7.0.x エンドポイント

CWMS ミーティングをつなぐ IP Communicator 7.0.x エンドポイントにより、次の条件が発生したとき、会議に音声品質の問題が発生する場合があります（エコーと他のノイズ）。

- IP Communicator がミュートされていない。
- IP Communicator を使用する参加者がアクティブスピーカーになる。

これを避けるためには、IP Communicator 環境（例: ヘッドセット、マイク、スピーカー）を微調整するか、別の従来型の電話を使用してください。

## iOS デバイスで開始するミーティング

iOS デバイスで開始するミーティングは録画できません。

## 進行中ミーティングへのダイヤルイン、ダイヤルアウト接続

ミーティングが□つのデータセンターから別のデータセンターにフェイルオーバーするとき、ミーティングへの着信と発信接続は自動的に再接続されません。接続を再確立するには、参加者は電話を切り、手動でダイヤルインします。

この問題は、次の場合に発生します。

- インストールしたシステムが大規模な MDC です。
- データセンターの 1 つがメンテナンスモードであるか、電源がオフになっている間にミーティングが開始されました。

- メンテナンスモードがオフになった後、またはデータセンターの電源がオンになったときに、別のデータセンターがオフになるか、メンテナンスモードになります。

## Windows では .mp4 ビデオ形式を共有できません

QuickTime を使用するとき、次のメッセージが表示されます。“QuickTime が初期化に失敗しました。エラー番号 -2093。QuickTime がコンピュータ上に正しくインストールされているか確認してください。”

このエラーメッセージは、QuickTime.qts ファイルが存在しない、移動した、または利用できないことを示しています。QuickTime.qts ファイルは \WINDOWS\SYSTEM ディレクトリにあります。この問題を解決するには、QuickTime を完全にアンインストールしてから、再インストールしてください。

- 1 QuickTime Player <http://www.apple.com/quicktime/download/>の最新版をダウンロードします。
- 2 プログラムの追加と削除コントロールパネルを使用して、QuickTime をアンインストールします。すべてをアンインストールする を選択します。
- 3 Temp フォルダ、C:\WINDOWS\TEMP の内容を削除します（存在する場合）。
- 4 ダウンロードした QuickTime のバージョンを使用して、QuickTime をインストールします。
- 5 Windows を再起動します。

## 補足説明

### バグサーチツールの使用

既知の問題（バグ）は、重要度レベルに従ってグレードが決まります。これらのリリースノートには、以下の説明が含まれます。

- 重要度レベル 1～3 の、顧客が発見した未解決のバグ
- 重要度レベル 1～3 の、顧客が発見した解決済みのバグ
- Cisco が発見した重要な解決済みのバグ

Cisco のバグサーチツールを使用すれば、リストに掲載されているバグの詳細を参照すること、および他のバグを検索することができます。

#### はじめる前に

バグサーチツールにアクセスするためには、以下の項目が必要です。

- インターネット接続
- Web ブラウザ

- Cisco.com のユーザー名とパスワード

- ステップ 1** バグサーチツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search> でご確認ください。
- ステップ 2** Cisco.com のユーザー名とパスワードを使用してサインインします。
- ステップ 3** 「検索」フィールドにバグ ID を入力して [Enter] を押します。
- ヒント <https://tools.cisco.com/bugsearch/bug/<BUGID><BUGID>> を入力することで、特定のバグに移動することもできます。} とは検索するバグの ID のことです (CSCab12345 など)。

### 次の作業

バグの検索、保存した検索の作成、バググループの作成に関する詳細をご覧になる場合は、[ヘルプ] (バグサーチツールページ) を選択します。

## Cisco WebEx Meetings Server リリース 2.6 での未解決の問題

Cisco WebEx Meetings Server リリース 2.6 (Build 2.6.1.39) での未解決の問題はありません。

## Cisco WebEx Meetings Server リリース 2.6 での解決済みの問題

下記の表には、このリリースで修正されたバグが列挙されています。バグの詳細については、Bug Search Tool を使用してください。

ビルド番号形式は X.X.Y.Z です。X.X はリリース番号、Y はメンテナンスリリース、Z が修正プログラム番号です。

表 1 : Cisco WebEx Meetings Server リリース 2.6 (Build 2.6.1.39) での解決済みの問題

識別子	重要度	説明
CSCus49058	2	2.5 へのアップグレード後の無効なライセンスステータス
CSCut45854	2	MARCH 2015 OpenSSL の脆弱性
CSCuw01086	2	SSLGW が 4096 バイトを超える大きいヘッダーを読み込めない
CSCuw02563	2	ミーティング中に音声断続的に乱れる
CSCuw07580	2	ミーティングに参加するときの Audio Video 証明書の警告
CSCuw38378	2	Android WebEx アプリケーションが CWMS サイトにアクセスできない
CSCuw58408	2	ユーザーが Outlook からスケジュールされたミーティングを削除または移動できない

識別子	重要度	説明
CSCuw58442	2	ユーザーがミーティングを Outlook からスケジュールできない
CSCur12588	3	パフォーマンス最適化 - 完全な外部の高解像度ビデオのロード
CSCur18445	3	orionsslwg プロセスが CPU を専有し、システムが遅い、または反応しない
CSCur43860	3	Document CWMS 2.0 Meeting Recordings が一部のユーザーで生成されない
CSCur70526	3	ミーティング招待が拒否されたとき、生産性向上ツールはミーティングを削除する必要がある
CSCus38026	3	CUCM の 2 グループのメンバーであるユーザーが CWMS で非アクティブになる
CSCus92401	3	CWMS 2.X: ミーティング終了に関するユーザーガイドを修正する必要がある
CSCut16779	3	ミーティングクライアントのクラッシュ
CSCut26628	3	大規模な展開での /archive パーティションのサイズは増加する必要があります
CSCuv52470	3	ELM 接続が失われたとき、CWMS がアラートを送信しない
CSCuv67898	3	リモートサーバーからのコンポーネントステータス UNKNOWN が公開されない
CSCuv68362	3	Mcollective がダウンする
CSCuv81798	3	NFS タイムアウトによって、ミキサーが音声の録音を停止する
CSCuv84227	3	プライマリ管理者がアクティブである場合でも、CWMS ログが HA Admin に保存される
CSCuv91741	3	ストレージの初期設定が DDC システムで変更できない
CSCuw02801	3	ミーティングの終了後、または退席後に、atmgr.exe エラーが発生する
CSCuw11412	3	電子メールのテンプレートが正常でない
CSCuw26139	3	ローカルの電子メールによるミーティングで、16 文字以上のパスワードを入力できない

識別子	重要度	説明
CSCuw36405	3	CWMS Memory Alerts 閾値が 2.5 で設定されていない
CSCuw37955	3	CWMS Custom Report が null 値を返す
CSCuw46970	3	CWMS ディレクトリ統合 CUCM ユーザーグループが削除された。
CSCuw28662	3	PCN がアクティビティ設定のために非アクティブ化される
CSCuv91430	3	PC 音声通話が切断される、または確立できない
CSCuw15986	3	MS 会議への参加に失敗する
CSCuw19759	3	PT Alternate ホストリストが適切に入力されない
CSCuw64579	3	PT エラーがミーティングを編集または削除できない
CSCut88399	4	CWMS Blast Dial Group がホストに正しくダイヤルしない

## ドキュメントの入手とサービス要求の送信

ドキュメントの入手方法やサービス要求の送信、追加情報の収集などについては、「Cisco製品ドキュメント」の月別の新情報を参照してください。これはまた、すべての新規および改訂された Cisco 技術ドキュメントもリストします。<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>を参照してください。

リーダーアプリケーションを使用して、デスクトップに直接配信するコンテンツを設定してください。RSS フィードは無料サービスで、Cisco は現在 RSS バージョン 2.0 をサポートしています。





---

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.